

県内経済の動き

概況

〔2025年1月～2025年3月の動き〕

県内景気は緩やかな回復が続く

鉱工業生産指数（1月）は2カ月ぶりに前月比上昇、通関輸出額（2月 細島港）は6カ月ぶりに前年同月比増加した。百貨店・スーパー販売額（2月 全店ベース）は4カ月連続で前年同月比増加、「軽」を含む乗用車の販売台数（3月）は3カ月連続で前年同月比増加した。新設住宅着工戸数（2月）は8カ月ぶりに前年同月比増加し、公共工事（3月 保証対象請負総額）は3カ月連続で前年同月比減少した。有効求人倍率（2月）は前月比横ばいの1.29倍で、3月の企業倒産は前月比3件減の3件、負債総額は同7億13百万円増の12億46百万円となった。

県内景気の緩やかな回復が続くなか、米国の相互関税の発動で世界情勢は混迷を深めている。今後の県内企業への影響を注視したい。